

春一番、目白を駆ける1000の鼓動！



3月8日(日)午前中開催予定です。千登世橋中学校グラウンド、学習院大学、目白通り、デサント、切手の博物館などを約1,000人が走ります。主催は目白ロードレース実行委員会。地元第5地区の町会が後援しています。

ONESHOT Snap

まちが応援、みんなが主役。

目白ロードレース大会

街の活動を1枚のスナップショットで紹介します

まち活ニュース

第10号
3月号

2026.03.01

制作・発行
豊島区
区民部

私たちがまち活中です！

まちに愛着を持ち、地域活動に尽力する方々を紹介するコーナーです。今回は、目白駅を最寄りとし、かつて尾張徳川家の屋敷が構えられていた歴史ある土地で、今も豊かな木々に囲まれた落ち着いた街並みが広がる閑静な住宅地にある、森会長の目白山紫町会を紹介します。



前列左から森会長、マリオンさん、後列左から森さん、渋澤さん、尾崎さん



目白山紫町会は、森茂治町会長を中心に、副会長の渋澤博美さん、会計・広報の尾崎喜代子さん、庶務・広報の森八千代さんが連携し、地域に根ざした活動を続けています。森会長は「楽しむことが活動の原点」と語り、加入が任意だからこそ積極的に活動を発信し、顔見知りを増やしていきたいと話します。

地域の象徴的行事が、目白駅前ひろばで行うクリスマスツリー点灯。草苑学園園児の合唱が冬の駅前を温かく包む一方、ツリーの電池交換や設置費用など苦勞も多いと、それでも「帰宅時にツリーが迎えてくれる」と住民から好評で、継続を望む声が進んでいます。

また、豊島区立旭出児童遊園での防災訓練と餅つき大会は、例年400名が参加する恒例行事。森会長の奥様の八千代さんは「町会は高齢者中心

豊島区には128町会・自治会組織があります。様々な活動で私たちのまちを支えています。毎月、町会活動を紹介します。

*町会・自治会に関する問い合わせは
区民活動推進課 地域振興G
03(3981)0479

① 駅前ツリー点灯
② チラシ
③ ④ 防災訓練&餅つき大会

という印象を変えたい」と、防災訓練に餅つきやハロウィンを組み合わせ、若い世代も楽しめる工夫を重ねています。「まずは楽しんでもらうことが大切」と、世代を超えた交流づくりに力を注ぎます。

尾崎さんは「町会に入ると顔見知りが増え、つながりの安心感があり、ここに住んで良かった」と実感していると言います。

渋澤さんも、住民の品の良さや落ち着いた暮らしやすさに魅力を感じ、役員としてその豊かさをさらに広げたいと意欲を見せています。町会は徳川家直系が創設し、今年で88年。役員の半数が女性で、森夫妻で支える運営体制も特徴的です。

ドイツ出身の美術家、マリオン・ゼツェコロンさんは「新たな建物の誕生は素晴らしい。質の高い芸術のまちになってほしい」と語ってくれました。住民の温かな思いと結束力が、このまちの誇りとなっています。



西部地区の参加者の皆さん

中央地区の参加者の皆さん

区では令和3年度から区政連絡会のオンライン化を進めており、町会長向けにZOOM操作勉強会を中央地区、西部地区でそれぞれ開催しました。1月は基礎編、2月は復習と実践編を実施し、各回18名が参加。講師の丁寧で分かりやすい指導のもと、操作への不安が解消され、「挑戦したい」「疑問が解消された」といった前向きな声寄せられ、オンライン活用への意欲向上につながりました。

町会長対象ZOOM勉強会開催



*予算資料などQRでご確認ください。

豊島区のお知らせ

令和8年度豊島区当初予算案プレス発表

2月2日、令和8年度豊島区当初予算案発表を行いました。今年度からスタートした新たな基本構想・基本計画の実現を加速し、持続可能な区政の礎となる予算と位置付けています。3月2日からはじまる区議会予算特別委員会で審査されます。

あのまちこのまち情報

新春町内で落語を聞く会
池袋通西陸町会



2月1日(日)
新たな試みとして落語会を開催し、多くの来場者で賑わい地域の結びつきが向上しました。

当日は約80名が参加し、福引や甘酒、わたがしの振る舞いで和やかな交流の場になりました。さらに目白警察署による防犯講話も行われ、特殊詐欺への注意喚起が図られるなど、楽しさと学びを兼ね備えた有意義な催しとなりました。

千川一丁目町会 安否確認訓練

2月8日(日)

災害を想定し、無事を知らせる黄色いタオルを使った安否確認訓練が行われました。雪が降る悪天候の中、町会役員、スタッフの皆さんが5班に分かれ町内を巡回し、タオルの掲示を確認しました。今回で2回目となり、地域の防災意識の向上を目指し、今後も実施される予定です。



千早四丁目町会餅つき大会

2月15日(日)



心地よい晴天のもと大勢のかたが集まり、みなさん餅つきを観賞しながら、つきたてのお餅と豚汁に舌づつみを打っていました。また、消防署の協力で消火器の操作体験も実施。会場は大いにぎわっていました。

西巣鴨新田町会防災セミナー

2月22日(日)

防災セミナーを開催し約50名が参加。講師の岡谷見治危機管理監が「自己別在の心理」を示し備えの重要性を解説。救援センターの役割や助成制度を学び、豊島消防署指導のAED・消火器、簡易トイレ体験も行い、助け合いの大切さを共有しました。



池袋本町宮元町会・第11地区青少年育成委員会 防災訓練

2月22日(日)

避難所開設を想定し、池袋本町小学校アリーナで町会対抗ポッチャ体験を実施。約60名が参加し交流が深まり、ストレッチや健康維持に資する取組に。避難所レクリエーションの有効性を確認し、地域の結びつきも強化されたようです。



町会のこと教えて！

町会って、そもそもどんな活動をしているの？

答 地域イベントや防災活動、ゴミ出しの管理など、住みやすい街づくりに欠かせない活動をしています。最近では、若い世代向けのイベントも増えていきますよ。

町会に入るメリットって何ですか？

答 町会に参加すると、災害時の情報共有や地域のネットワークが強化され、安心感が増します。身近なイベントに参加して、新しい友達ができるかもしれません。

私たちが町会を支えます



左から岩間さん、桂原さん

的でした。旭出児童遊園のハロウィン餅つき&防災訓練や目白駅前クリスマスツリー点灯式で、楽しながら顔合わせの機会を創出する地域のつながりを強く感じました。

桂原慶太さん

西部区民事務所

目白山紫町会の取材に同行した若手職員に感想を聞きました。

岩間陸さん

区民活動推進課

目白山紫町会が発足して8年と長い歴史を守りつつ、「町会員が楽しめるむことが大事」とお話しされる森会長の言葉が印象的でした。

東部区民事務所仮移転(令和7年11月~)しています

東部区民事務所は建替えに伴い、以下の2か所に分かれて仮移転しました。

■ 地域振興グループ(町会関係) 豊島リサイクルセンター2階(北大塚3-29-11)

※印刷機あり、町会の皆さまはご活用ください。

■ 区民グループ(住民基本台帳等)、マイナンバーグループ(マイナンバー関係) 都営南大塚二丁目アパート1階(南大塚2-36-2)



移転先情報 QRコード参照

編集後記

3月は卒業と旅立ちの季節。地域でも節目を迎える方がおられます。古沢秀明会長は、折戸協和町会の会長を約22年務められ、副会長時代を含めるとさらに長年にわたり地域を支えてこられました。また、第1地区区政連絡会の委員長も4年4か月歴任。「子どもからお年寄りまで、誰もが楽しめる街にしたい。役所と一緒に、いいまちづくりができればいいね」。地域への深い愛情と未来への思いが込められています。ご尽力に、心からの感謝するとともに私たちが役所の人間が決して忘れてはならない言葉をいただきました。ありがとうございました。(藤田)

町会・自治会紹介

町会・自治会の一覧、区域図がご覧いただけます



問い合わせ

区民活動推進課 03-3981-0479
東部区民事務所 03-3915-2334
西部区民事務所 03-4566-4022